



平成25年度 補助事業等実績報告書

平成26年4月25日

函館市長 工藤 壽樹 様

住所 函館市末広町4番5号  
補助事業団体名及び 函館豆記者交歓会  
代表者氏名 会長 若山 直

補助事業等の名称 函館豆記者交歓会運営事業

平成25年5月29日函子育をもって補助金等の決定を受けた上記の補助事業は

平成26年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	300,000円
補助金等領収済額	金	300,000円
補助金等領収未済額	金	0円

## 補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日 昭和51年8月12日
	構 成 員 60名
	<p>営む主な事業</p> <p>青少年の健全育成の一環として、沖縄、豊川の豆記者を受け入れ、函館の子供達と親善交歓するとともに、函館の豆記者を、沖縄はじめ根室、釧路(北方領土取材)、豊川、東京などへ派遣する。</p>
補助事業等の内容	<p>函館豆記者研修</p> <p>1. 宿泊研修 6月15日～16日 北海道新聞社北斗工場取材、「ふるる」宿泊</p> <p>2. 北方領土取材 事前研修 7月5日 函館市総合福祉センター 取材派遣 7月31日～8月3日</p> <p>3. 東京取材 事前研修 7月12日 函館市総合福祉センター 取材派遣 7月29日～8月1日</p> <p>4. 豊川豆記者函館市内取材 8月5日～7日 ホームステイ受け入れ</p> <p>5. 沖縄取材 事前研修会 12月6日 函館市総合福祉センター 取材派遣 12月25日～30日</p> <p>6. 豊川取材 事前研修会 3月7日 函館市総合福祉センター 取材派遣 3月25日～28日</p> <p>7. 記録文集「羽ばたき」発行し函館市内の小学校、図書館、取材関係先に寄贈</p>
実施による効果	<p>全国各地域への派遣は、自立心を向上させるとともに、社会見聞を広めるのに寄与し、交歓を通じて明日の日本を背負う青少年の健全育成に役立った。</p>
備 考	<p>退職校長会に交渉し、「豆記者部会」を設けてもらい、年間2名～3名の引率候補を募ることとした。今回の引率者2名はいずれも退職校長会理事である。</p> <p>なお、豊川豆記者交歓会は本年度で事業を一時休止し、新年度の募集を行わない。函館と豊川の交歓を従来と異なる形で実施するため、豊川会長が10月に来函する際に協議する予定である。</p>

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位 円)

項目	25年度予算額(A)	25年度決算額(B)	増減(B—A)	内訳
繰越金	0	0	0	
会費	324,000	324,000	0	24年度14名×12000=168000 25年度13名×12000=156000
補助金	550,000	550,000	0	函館市 300,000 北方領土復帰期成同盟 250,000
寄付金	150,000	302,965	152,965	
雑収入	0	44	44	銀行利息
合計	1,024,000	1,177,009	153,009	

支出の部

項目	25年度予算額(A)	25年度決算額(B)	増減(A—B)	
会議費	0	0	0	
事業費	944,000	1,098,919	▲154,919	宿泊研修費用。 北方領土取材・沖縄取材・ 豊川取材・東京取材の引率 者旅費、傷害保険等。 『羽ばたき』発行費用 その他
事務費	40,000	48,090	▲8,090	
通信費	30,000	30,000	0	
予備費	10,000	0	10,000	
合計	1,024,000	1,177,009	▲153,009	

差し引き(年度繰越金) 0 円